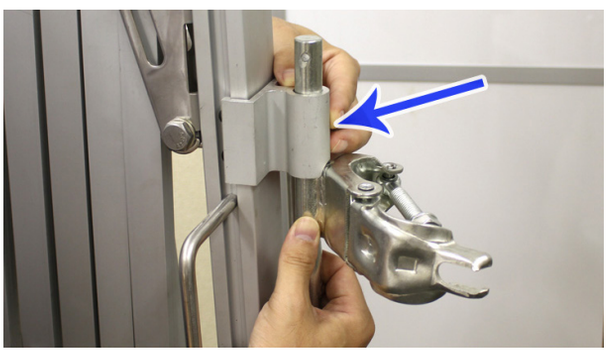
設置について【アルミゲート　EXG シリーズ】

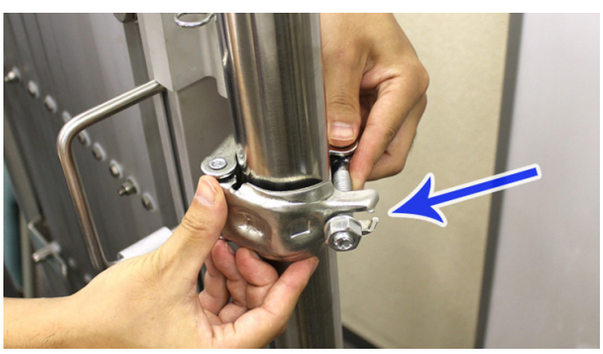
アルミゲートの取付方法

アルミゲートは取っ手、キャスターを組み立てた状態でお届けいたします。
組み立ては「取付柱」に付属のクランプ 2 個を取り付ける作業になります。



①クランプガイドにクランプを差し込む

②ピンを差し込みクランプを固定させる



③取付柱の柱にクランプを取り付ける

④スパナ等の器具でクランプを固定させる

ナットで固定するのでスパナをご用意ください。
そのほか用途の異なるクランプがございます。
当店のオプションをご確認いただくか、お問い合わせください。

取付柱の準備方法

方法①　オプションの「杭」を追加購入いただく
　　対応可能な品番：EXG-1230G、EXG-1250G、EXG-1530G、EXG-1550G

方法②　ホームセンターなどにて単管パイプをご購入いただく

方法③　オプションの「ステンレス製取付柱（ベース付）」を追加購入いただく

取付柱の設置方法

方法①　「杭」（オプション）

杭を 50cm ほど打ち込む。
（打ち込める深さは地盤の固さにより異なります）

木槌／ハンマー、シャベルなどをご用意ください。
周りに十分注意して作業を行ってください。

方法②　「単管パイプ」（ホームセンターなどにてご購入）

単管パイプを使用した支柱立て方
（支柱は 48.6Φをご使用ください）

【基礎材を使用】

コンクリート製の基礎材を使用する。
単管パイプの位置がしっかりと固定できるので安定感はあります。使いやすいですが少々高価なものが多いです。
柔軟にゲートの位置を移動したい場合には不向きです。

【ブロックを使用】

手軽に入りやすいブロックを使用する。
安価で手に入りやすい素材なので、幅広く DIY でも利用されています。

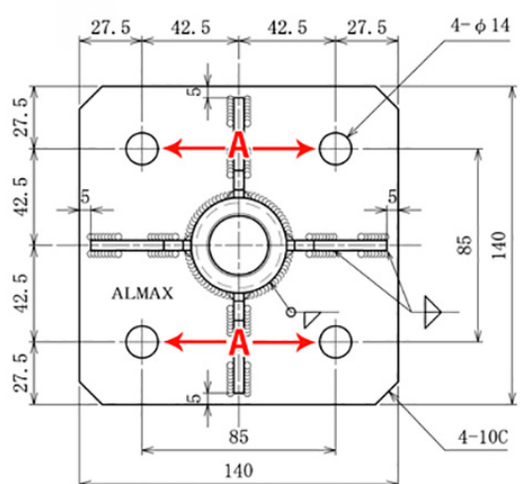
【塩ビ管を使用】

塩ビ管を地面に突き刺して使用する。
より強度が必要であればコンクリートを流し込みます。
設置の際は単管パイプが入る大きさの塩ビ管をご用意ください。

方法③　「ステンレス製取付柱（ベース付）」（オプション）

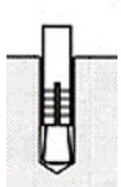
アンカーボルトが 4 本付属しています。
本体打ち込み式のタイプで下穴の空いたコンクリートに打ち込むと、テーパー部に沿ってスリーブが拡張し、コンクリートの下穴の壁に食い込み固定されます。
（コンクリート以外では使用しないでください）

1.
下穴をあけるため、コンクリート設置面に A 部分の穴位置を印付けしてください。
ずれると設置できなくなりますので十分ご注意ください。
※　図面の単位は mm 表記



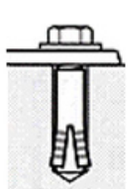
2.
コンクリートにドリルで下穴をあけ、コンクリートの粉を取り出し、中をきれいにします。
下穴のサイズは直径 18mm です。

3.
広がっている部分、スリーブは割れている部分を下にしてアンカーを差し込みます。



4.
ハンマーでアンカーを打ち込みます。
スリーブの頭が少し沈む程度まで打ち込んでください。

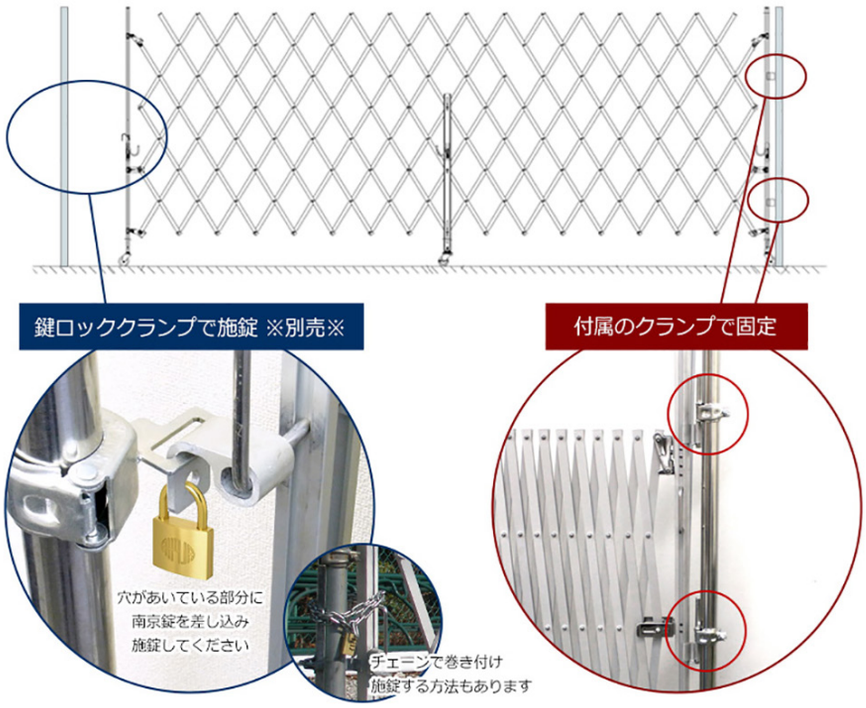
5.
取付柱をアンカーの頭部分に合わせて乗せてください。
専用器具でボルトを締めて取付完了です。



設置イメージ

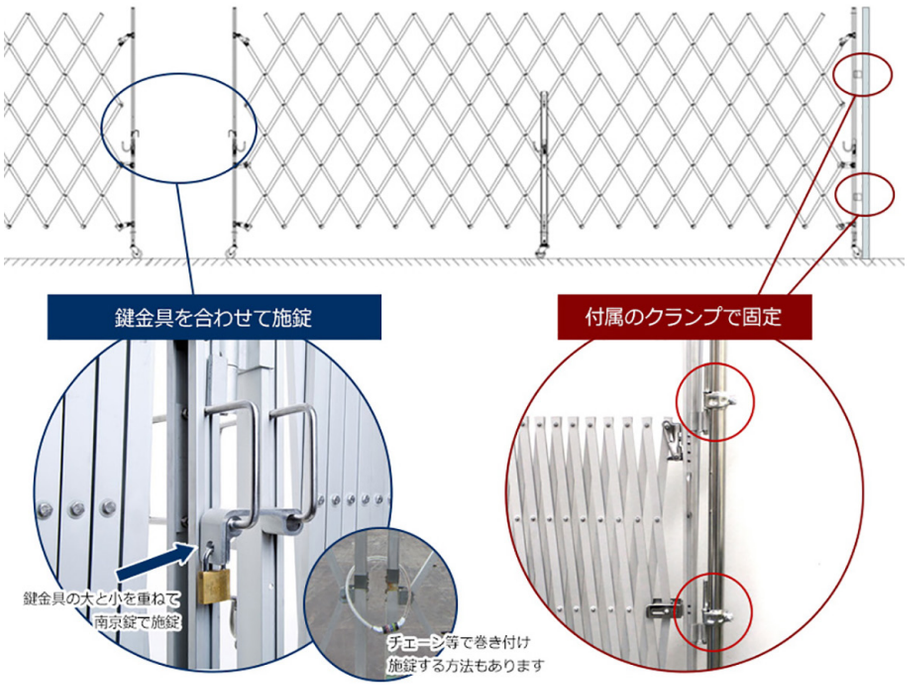
片開き
設置イメージ

間口の両側に取付柱を2本立てます。
ゲート本体の片側のみ付属のクランプで固定してもう片側を閉めて使用します。



両開き
設置イメージ

間口の両側に取付柱を2本立て、ゲート本体を2台横並びに設置し、両側を柱に固定します。中央を開け閉めして使用できます。



屋外防犯用品の販売サイト
Fieldsaver.com
フェンスやセンサーカメラで屋外の防犯対策をサポート

Fieldsaver.com（フィールドセーバードットコム）
運営会社：株式会社地域環境計画
〒154-0015　東京都世田谷区桜新町 2-22-3 NDS ビル
フリーダイヤル：0120-530-318　FAX：03-5450-3702
mail：info@field-saver.com　　URL：https://field-saver.com